令和8年10月29日会議概要

第１　日時

令和８年10月29日（木）午前９時10分から午前11時30分までの間

第２　出席者

森田委員長、森委員、在田委員、野瀬委員、池坊委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等
《書記　総務課公安委員会補佐室長、同室室長補佐》

第３　議事の概要

１　委員報告

(1) 亀岡署保津駐在所・高速道路交通警察隊福知山分駐隊視察及び丹波ブロック署長会議出席（10月23日）

委員から、「亀岡署保津駐在所では、駐在所員が家族とともに地元に溶け込み活動しており、ほとんどの高齢者所帯から国際電話休止の手続の同意を得るなど特殊詐欺対策を実施していた。」「高速隊の福知山分駐隊では、京都縦貫道と舞鶴自動車道全線を一手に警ら・事故処理をしていることが分かり、人数が限られている中で頑張っていただいていることに感謝したい。」「丹波ブロック署長会議では、『自然災害への対策と自治体との連携関係』がテーマであったが、それぞれ地域の特徴等に応じて工夫を凝らして対策していることが分かった。」旨、報告があった。

(2) 右京署京北交番・北署小野郷駐在所視察及び北ブロック署長会議出席（10月26日）

委員から、「右京署京北交番では、過疎化が激しく高齢化も進んでいる中、きめ細かく地域を回り特殊詐欺対策等の取組を進めていることが分かり、地域から歓迎されていると感じた。」「北署小野郷駐在所では、駐在所員が情熱を持って勤務していると感じた。」「北ブロック署長会議では、『適正な留置管理勤務』の議題では、留置業務は目立たないが重要な勤務であり、各署の担当官の士気高揚や育成についての創意工夫した取組を聞いた。『術科訓練及び総合対処訓練の取組強化』の議題では、朝礼後に全員で訓練を行うなど職員の訓練参加率を上げる取組を聞いた。」旨、報告があった。

(3) 東山署・少年課サポートセンター視察及び中ブロック署長会議出席（10月28日）

委員から、「東山署では、署長から各課の案内を受け、様々な個々の業務について説明を受けた。」「少年課サポートセンターでは、現在は小学生がＳＮＳを利用し犯罪を行うこともあると説明を受け驚いた。」「中ブロック署長会議では、『繁華街における様々な対策』の議題であったが、昔と比較すると今の繁華街の安全安心が保たれているのは、長年にわたる警察官の努力の結果だと思った。行政とも連携して楽しい街にするため、それぞれの街の特性を活かして今後も対処していただきたい。『サイバーに対する対処能力』の議題では、年配者にも最低限の教育をしていただきたいと感じた。」旨、報告があった。

２　議題

(1) 「犯罪被害者月間」の取組について

警務部長から、集中的に被害者等支援の施策を推進する期間として、本年11月1日か

ら12月1日までの間、「犯罪被害者月間」として、様々な広報活動を推進する旨、報告があった。

広報重点として、犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュっとちゃん」の普及及び若年層を対象とした理解増進活動を行うこと、主な取組として、京都府、京都市及び京都犯罪被害者支援センターと共催で、「生命のメッセージ展in京都」を開催すること、京都府及び京都市と共催で「命の大切さを学ぶ教室」を開催すること、イベント会場における啓発活動を行うことなどについて説明があった。

委員から、「理解増進活動について若年層を対象とする理由は何か。」旨、質問があり、警務部長から、「被害者等支援の取組は、世代を問わず十分に認知されていないが、若年層を対象としたのは、特に今後、犯罪の被害者や場合によっては加害者になってもらいたくないという思いからである。」旨、説明があった。

委員から、「理解増進に向けこのような地道な活動を積み重ねるとともに、京都犯罪被害者支援センターが安定して運営できるような体制も今後考えていかなければならないと思う。」旨、発言があった。

⑵ 令和８年秋の京都府警察勲章伝達式の実施について

警務部長から、本年11月４日、警察本部において、令和８年秋の「京都府警察勲章伝達式」を実施し、36人が受章する旨、報告があった。

委員から、「例年のことであるが、厳粛な取組をよろしく願う。」旨、発言があった。

⑶ 令和８年度全国通信指令・無線通話技能競技会（本選）への出場について

地域部長から、本年11月12日、警察庁において開催される令和８年度全国通信指令・無線通話技能競技会（本選）へ出場する旨、報告があった。

競技会は、 110番通報等に基づき、初動警察活動に必要な無線指令、現場からの無線報告等を行い、その技能を競う旨、説明があった。

委員から、「以前、競技会出場前の訓練状況を視察した際、無線通信員が、細やかな気配りをして指示をしていることに非常に感銘を受けた。」旨、発言があった。

⑷ 自転車に係る取締り及び交通事故発生状況について～交通反則通告制度開始から半年経過～

交通部長から、自転車に係る取締り及び交通事故発生状況について報告があった。

本年４月から交通反則通告制度が開始となり、指導取締状況では、明らかに検挙数が減少し指導書による指導や口頭指導が増加したこと、事故発生状況では、年齢層別死者数で60歳以上の高齢者が８割を占めていること、今後の対策として、広報啓発活動の継続、積極的な交通指導取締り、産学官連携による自転車安全利用への取組強化を行うことについて説明があった。

委員から、「高齢者の死亡者数が多いのは、ヘルメットを着用していないことが原因か。」「青切符を切られた反則金の納付率はどうなっているのか。」旨、質問があり、交通部長から、「ヘルメットを着用されていても不完全という事例もあり、対策が難しい。」「自転車に特化した納付率は不明だが、反則金全体の納付率は約98パーセントである。」旨、回答があった。

委員から、「自転車は、自動車の運転免許のように教習所で勉強していないので、交通法規を知らない人も多くいると思う、検挙取締りも大事だが、交通ルールの啓発・普及も必要と思われるので、それも視野によろしく願う。」旨、意見があった。

３　追加報告

時代祭及び鞍馬の火祭に伴う雑踏警備の実施結果について

地域部長から、本年10月22日に行われた時代祭及び鞍馬の火祭に伴う雑踏警備について、いずれも怪我もなく無事終了した旨、報告があった。

４　警察本部長総括

警察本部長から、「ブロック署長会議等で様々な意見要望が出ているが、本部としてそれらを踏まえて必要な対応を取っていく。」「自転車に係る取締り等については、中学校で義務化されていた自転車のヘルメット着用が、高校になるとそれがなくなるとのことで着用率が落ちることから、京都府と京都市の教育委員会に本部からしっかり働きかけていく。」旨、報告があった。

５　聴聞等

運転免許関係行政処分について

運転免許試験課交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、16件の行政処分を審議した。

６　個別決裁

⑴　京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（２件）

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

⑵　「11・３憲法集会ウォーク」の許可申請について

警備対策官から、本年11月３日に実施される「11・３憲法集会ウォーク」の許可申請について説明があり、審議の上、申請を許可した。

⑶　公安委員会宛て苦情について（処理１件）

総務課公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情申出１件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

７　個別報告

⑴　有効期間の更新時における旧免許証の取り扱い状況について

警務部長から、「有効期間更新時の旧免許証の取扱い状況について調査を進めている。警察庁と調整しつつ、引き続き、実態調査を進めるとともに、調査結果の公表についても適切に対応していく」旨、報告があった。

⑵　警察宛て苦情の受理及び処理結果について（令和８年７月から９月末まで）

広報応接課広聴・相談担当補佐から、令和８年７月から９月末までの警察宛て苦情の受理及び処理結果について報告があった。

⑶　令和９年度京都府警察嘱託警察犬審査会の開催について

鑑識課資料分析担当補佐から、本年11月６日及び11月13日、警察学校において、令和９年度京都府警察嘱託警察犬審査会を開催する旨、報告があった。

(4) 当面の行事予定等について

総務課長及び総務課公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。